

軽米町百人委員会平成 28 年度第 1 回環境・衛生部会議事録

○開催日時：平成 28 年 6 月 3 日（金）午後 6 時 30 分～午後 8 時 15 分

○開催場所：軽米町役場庁舎 3 階会議室

○出席者

委員：15 名中 11 人出席（小笠原恒治、門前克男、高橋克佳、畠山公志、丹下美恵子、山舘松五郎、工藤佐紀子、木村拓司、中里多喜男、江刺家静子、横井内正浩）

事務局：地域整備課	新井田	日脇	江刺家
町民生活課	中野		
総務課	吉岡	梅木	小笠原 山舘

○開会

（地域整備課長）お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。本日の会議はだいたい 8 時くらいを目標にお願いします。まずはじめに、部会長から挨拶をいただく前に総務課から報告があります。

（総務課）会が始まる前に皆さんにお知らせしたいんですけども、3 月に行われた全体会ですけども、委員の皆さんから各部会にも町長が出席したほうがよいのではないかというご意見をいただきました。その際には出席していきたいと回答したんですが、4 月 27 日に開催しました代表者会議で話し合った結果、町長がすべての部会に出席すると町長のスケジュールの確保というのが難しいというのがございますし、もう一つ、町長が出席すると町長とのやり取りになって委員会の話し合いというのがなかなか持つていきにくくなるのでは、ということをお話し合いました。すべての部会において基本的には町長は出席しないで進めるということでご了解をいただきましたのでご報告致します。また、部会を傍聴できないかというお話もございました。これについても代表者会議で話し合いました。忌憚りの無い意見を出していただきたいということで、そこに傍聴が入るとなかなか自由な発言というのがしづらくなるのではないかとということで基本的に部会のほうは傍聴は無しということで進めさせていただくということでお願いいたします。

（地域整備課長）はい。それでは、部会長さんお願いいたします。

○部会長あいさつ

（部会長）おぼんでございます。27 年度の部会のほうは、皆さんご協力いただき誠にありがとうございます。28 年度部会が今日から始まるわけですけども、皆さんのご意見ご質問をたくさん述べて、ご協力をよろしくお願

いたします。先ほど総務課からも話がありましたけれども、町長の出席と傍聴については、代表者会議でそのように決まりました。今後もざっくばらんに話し合いが進むようよろしくお願いいたします。本日はお忙しい中ありがとうございます。

(地域整備課長) ありがとうございます。先ほどから話にも出てきていたけれども、本日の議題は、今年度の部会の協議事項、テーマの決定と、第2回部会の進め方と開催日時についてご協議いただきたいと思います。いずれ何を目指して28年度の環境・衛生部会が話し合っていくのか、そういったテーマ、これから町をどのようにしていけば、よりよい軽米町になるのか、そういった委員の皆さんのご意見を提言に結びつくようなテーマを決めましょうということで今回お集まりいただきました。提言等につきましては、当然のことながら財源的な部分、人的な部分などもございまして、すべてそれが提言で実行できるかというとなかなか厳しいものだと考えておりますが、それはそれとして提言をたくさん出していただきたいというふうに思っております。よろしくお願いいたします。

○議事

(1) 今年度の部会の協議事項の決定について

(地域整備課長) それでは皆さんにお配りしました資料の1ページ目をご覧くださいと思います。環境・衛生部会のテーマについてということで、皆さんからご意見いただく前にですね、資料をご説明申し上げます。これまでの百人委員会の部会、それから全体会等が出されました意見をまとめまして、テーマを決定する際のキーワードを列挙いたしました。それから、今後進めていく上での考え方といいますか、それを提示いたしました。自分たちでできることは何なのか、みんなでできることは何なのか、行政ができることは何なのかというキーワードをですね、生活環境と衛生環境の2つに分けて列挙しております。(1)として道路環境、その中には27年度の部会の中で様々な意見が出されてきました。歩道の整備や学校周辺の道路整備、それから側溝の清掃などがありました。それから(2)の河川環境整備では、中州の立木枝の除去や桜のテングス病対策、川の汚れ。(3)の公園整備では、子どもが遊べる遊具のある公園の整備等ですね。それから(4)の住環境整備ということで、町営住宅や若者住宅、空き家の話しも出てきました。それから風呂もほしいなというのが1回目の会議の中で出てきました。あとは(5)再エネ、小規模ソーラーというのもありました。それから衛生環境ということで、ごみやクリーンアップデー、生活排水などの衛生関連整備の話題も出されました。それから下水道整備という

ことで、図書館前のトイレの水洗化をしてもらいたいということも出されました。

そこで、次の資料2ページ目をご覧いただきたいのですが、資料2のほうですね、テーマについてということで『より良い快適な生活環境を目指して』という一つの仮定ですけども、こういったテーマもありますよというものです。非常に広い分野にまたがると考えますが、ある程度焦点をしばって、地域住民がこれからもずっと快適に住み続けるためには、そして町外の方々からも住んでみたいと思えるような魅力ある軽米の町づくりをするためには、何をどのようにすればよいのか話し合ってみてはどうでしょうか。ということで、一つの案として提示したものです。資料については以上でございます。それでは議事に入りますけれども、議事の進行については、部会長さんのほうから進めていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(部会長) いま役場のほうから説明がありましたけれども、テーマをしばって話したらどうだということでしたが、皆さんのほうからこの生活環境と衛生環境の1と2とありますけれども、どのようにしばったらいいでしょうかね。事務局のほうからもこういったのはどうだと案が出てましたけれども、どのように決めたらいいか、皆さんからご意見いただければと思います。

(委員1) テーマについて、資料の1が環境・衛生部会のテーマについてとなっていて、2のほうも仮定のテーマについて。どちらもテーマについてとなっているのは？

(地域整備課長) 説明不足で申し訳ありません。こちらの資料1については、27年度に話し合いがなされてきて、その中で出されたキーワード、テーマを決定していく上でのキーワードを並べただけでございます。例えば道路環境も出ました。河川的环境も出ましたし、公園が欲しいというのも出ました。あと、住宅環境整備とかクリーンアップデーの話も出ました。いずれこの環境衛生については非常に範囲が広いと感じました。そこで一つの案なんですけど、この資料2のほうの『より良い快適な生活環境を目指して』というようなテーマでもって、その中身を話し合っていけばいいのかなということで仮定のテーマとしてお示ししました。このほかにも皆さんから、こういうのがあるよ、こういったテーマでもいいんじゃないかというご意見などがありましたら、出していただきたいなと考えております。

この資料1については、たたき台というか参考資料として出したものです。

(委員2) この環境・衛生というのは、あまりにもいろんな分野が広すぎて、これはこうだ、こうすれば上手くいくというのは無いんじゃないかと。一

つの例として、私が小学校のときに町に簡易水道が通りました。それまでは朝から晩まで父親母親が井戸から水を汲んでというのを毎日やっていたわけですね。そして水道が通って、ものすごくいいなど。環境もいいし、すばらしいなど。でも、今の人たちはそれを感じていないと思います。くるのが当たり前で断水すれば文句、そういう状況だと思います。もう一つ例を出すと除雪の話です。昔は雪が降れば自分の家の前から道路の所までずっと雪かきをしなきゃいけない。いま雪かきをすると、自分の家の前まで除雪が来るともう文句が来る、こういう時代です。そうなる和我々も、町民の皆さんがどこまでやればよくて、どっからがダメでという境がわからないまま話し合ったところで難しい話だと思うんですよね。そうなると思ふだらけの人もあれば、ありがたいと思ふ人もいる。これでよかったなと思ふ人もいると思ふんです。そういうアンケートも必要なんじゃないかなと思ふんです。どのへんなら満足するのかということだと思ふんですよね。本来であれば役場のほうで探っていただいて、どうしようこうしようというのを決めていったらいいのではないかということをお話しました。そういうことをここに載せないで、我々に意見をただくれくれといってもどのレベルで話をすればいいのか。それと一番いいのは金がいっぱいあればいいんです。金があればあれもこれもとやればいいわけですが、そうはいかない。限られた金の中で、町民の皆さんの満足するレベルというのはどこなのか、そこを全く分からないまま私たちがここで議論をしたところで前に進めないんじゃないかと思ふわけなんです。ですから、役場のほうでぜひこのレベルというのを抑えてもらって。

もう一つ私気になって質問があるんですが、雪谷川というのは県の管轄ですよね。ところが町内というか町内学区というのかな、ではクリーンアップデーになると川原に行って草を刈るんですね。県の管理なのに。それも悪いことではないんでしょうけど、歩道の脇の草などはけっこうそのまま。限られた労力できれいにするのなら、県のもものは県に任せて、我々の身の回りをきちんとやって、それから県のもものをするならそれはそれでいいと思ふけども、なんかそこらへんが逆になっている気がします。いらぬことかもしれないけども、最近そういう矛盾を感じています。

(部会長) はい、ありがとうございます。テーマについてはどうでしょうか。

なかなか出しづらいんじゃないかということで事務局のほうも案を出したみたいですが。

(委員1) テーマは一つですか？ 4本とか5本とかあってその中にどういった言葉を盛り込んでほしいとかそういうことですか？

(地域整備課長) このテーマというのは、仮定のテーマということで一つ出し

たんですが、一つというわけではございません。数に制限などは無いです。ただ（２）のスケジュールや進め方の話をしますとですね、最後に日程スケジュール表というのがあるんですが、今日が第１回部会になります。そして第２回が、これは案ということなんでしょうけれども、８月の下旬から９月の上旬、そして第３回が１０月。いずれ、今日の部会を入れて３回の部会でもって提言のとりまとめということになります。それで、あまり範囲を広げすぎるのもあれですし、一つだけでなく違った視点からテーマを決めていただいても結構です。

（部会長）道路環境整備と河川の整備、それから住宅などもありましたけれどそれらが一体となったテーマを設けていけばいいのではないかなと思うのだけれども。

（委員３）川的环境整備、川が汚れてひどいとありますよね。そしてこれは県の管轄で、私も半年ほど前にカシオペア流域の会議があつて、そこでもやはり話に出るんですよね。だけれどもこれは１１月が予算のあれだから、これをやっていくためには１にも２にも、とにかく足を運ばないとダメだと思ふんですよね。この間、所長にもまたあとで伺いますということ言ってきましたけれども、皆さんの意見を聞きながらとにかく足を運んで運んでしないと、なかなかOKが出ないんですよ。とにかく川が汚い。滑って歩けないほどです。これはたぶん時間がかかることなんでしょうけど、会長を通じてお願いするしかないことだと思います。

（委員４）テーマの決定ということで、事務局のほうではよくこれをまとめてくれたと思いますけれども、生活環境と衛生環境、この２つを合わせてよりよい快適な生活環境ということだと思いますけれども。私はこのテーマでよいと思います。それで生活環境のほうなんですけれども、河川の汚れですね。先ほど他の委員さんも言っていましたけれども、県のほうでやはり予算を持っていないと出来ない仕事、重機を持っていないとなかなか進めることができないことだと思うのですが、会議などでもお願いして、また会長さんからも足を運んでほしいです。

テーマや項目についてはこれでよいかと思います。個人的には道路環境がやはり重要なと考えています。車のためにも子どもたちのためにも事故のない快適な道路環境を作る。これを私は一番望みます。いま学校へ通う子どもたちを毎日見えていますけれども、歩道の無いところなどは本当に危ない。これが冬になると道も狭くなるし凍るしで本当に危ない。スクールのバスの停車場所を変えるなどの方法もあるかと思いますけれども、歩道が無いというのが一番です。小学校通りのように大きな歩道でなくてもいいから人が歩ける歩道を学校周りにほしいと思います。

まず、テーマとしては私はこんなものでいいのではないかなと思います。
(部会長) はい、ありがとうございます。今の意見はテーマとしては事務局
のこのテーマでいいのではないか、そして重点としては道路環境をもっと
よくしたい、とこういうものでした。他に、皆さんは何かありませんか。

(委員5) 先ほどの方もおっしゃってましたけれども、町の人たちがどの程度
で満足するのかわかるというところの見極めというのがすごく難しい。私なんか
もまず特別の不便などは感じていませんが、この間他の会議でも川がきれい
に流れていないなと思ったり、子どもたちが歩く道路で何箇所か危ないと
感じる場所がある。明るい時期はいいけど、日が短くなった時に生徒
が帰るところで危険なところがある。これからのことを考えたときに、お
年よりももちろんだけでも、若い人たちがこれから暮らしていく上でいい
環境というのはどういったものか、そしてそれがどこまで必要なのか、正
直迷っています。皆さん何かいい意見が無いですでしょうか。テーマとすれば
これでいいんじゃないかと思っていますけれど。

(委員1) 私はこの環境・衛生部会に来たのは、すごく広い範囲でそれをどこ
まで考えるか、すべてが環境に関わると思って。軽米町の町民憲章だか総
合発展計画だかで、自然を豊かにしようという言葉があったかと思います。
そういう観点から私は来たので、だから先に水道の話とかが出てきて、ち
よっとそこまで私は思い至らなかったんですけども、私はその将来のこ
とを考えてきました。よく環境教育というのがあるんですけども、やは
りそういうものの中に水の大切さとか、そういうのを教えていけたらと考
えます。町でもバイオマス発電とかメガソーラー発電とかを推進していま
すけれども、環境教育というか、こういうものの仕組みはどうなっていま
すよとか子どももそうですけど大人も例えば見学したり勉強するというの
も大事なかなと思いました。そしてごみの減量化とかリサイクルというのも
進めているんですけども、これもやはり自然を大切にするとか資源を大
事にするとかそういったのにも関わってくるかと思うので。例えば川にご
みを捨てる人とかもいるんですけども、注意すると、なにすぐに流れて
いっていなくなるとかいう人もいます。そしていくら言ってもやめてくれ
ないという感じなんですけれども。やはり、子どもうちから教えること
だし、大人が手本を見せるべきものだと思うんです。そして、アンケート
も大事だと思うんですが、私は未来に向っての環境というのが大事だと思
うんです。生活全てに関係する細かいものまでですね、この資料1に出て
いるものがより具体的で、早く取組まなければならないものだと思うん
ですが、より快適な生活ができるようにと、そういうのを考えてきました。
学校でもよく、環境教育というのをやっているという話を聞きます。ピン

を持ってくるときに、今回は薬のビンを持ってきてくださいとか、今回は化粧品のビンですよとか、今回は空き缶ですよとか学校でやる環境教育、そうすることで子どもたちはお母さん捨てちゃいけないよとなるわけです。そういったことから軽米はいいなと言われるような環境にしていけたらと考えていました。抽象的なことすみません。

(部会長) はい、ありがとうございます。未来に向っての環境ということで、子どもたちへの環境教育とかそういったことでした。この仮定テーマに未来へという文言が入ればどうでしょう。

(委員2) 先ほど私が言ったのはこういうこともあるんです。これまでにあげてきたのは、金をどこからか見つけてくれば全部簡単にできるんですよ。ところがそうはいかないんですよ。いる人の考え方や見方というものを改めていかないと。我々が生活していくうえで水道というのは大変すばらしいものでした。ところが今の人はそのような感じしていない。昔はこうやって水を汲んだんだよ、それが今ではこうやってひねると水が出てくるんだよというのを教えていかなければいけない。こういうことがありました。車で走っていたら、前の車がティッシュを窓から3回捨てました、走りながら。実はこの人は私が知っている人で、60近い人がそういうことをしている。そういう人たちが子どもに注意しないでやっているとなんかそうなる。先ほど話した除雪の件も、実際に地域整備課とか電話来ると思うんですよ。昔の人は自分の家の前に除雪が来たと喜ぶわけですよ。だから、我々町民がここからここまでは自分たちでやるのが普通だし、ここは役場にやってもらえればそれで充分だという気持ちにならないと、そういう教育をこれから学校教育でも社会教育でもやっていかないと、あれもこれもやるというのはできないのでそういうことをこれから役場が中心になってやっていくべきだと私は思います。でないとすごく金をかけないと満足することなんてできないと思うんですよ。だから、実際に動くことも大切だし、そういった考え方を抑えていくという両方からやるのが大切だと思うんですよ。ありがたいという感謝の気持ちも持ってもらわないとですね、これはいくらやったってきりがありませんよ。従業員も給料上げるにはきり無くほしいんですよ、当然です。どこかで抑えることも必要なんです。どこかで説得するとか納得して貰わないとですね。

(部会長) やはり我々ができることからやって、それを見せていかないと。学校教育は学校の先生に任せるけども、できることをやってみせるということが大事になってくると思う。あとは皆さん、テーマについてなにか。

(委員6) 今の話は、このテーマをどうするかという話ですよ。とりあえずはそのテーマを決めた方がいい。より良い快適な生活環境を目指して、と

いうこのテーマも充分いいと思います。それに付け加えて将来の若者にとって快適な生活環境を目指して、とか具体的な言葉をちょっと足すとなお良いのかなと思います。その辺でテーマを決定したほうがいいのではないですか。それから中身に入っていったほうがいいのかなと思いますけれども。

(部会長) それではテーマについては事務局が示した『より良い快適な生活環境を目指して』これに未来へのなにかを足してということではいかがでしょうか。

(地域整備課長) ちょっとよろしいでしょうか。今仮のテーマとしてお示ししているわけですが、いずれ実際の提言の中身としては、いま皆さんからいろんなご意見が出ました。そういったことを提言の中に盛り込んでいきたいなと思っております。いずれ環境教育やバイオマスなども大事だよということ、それから軽米はいいところだよというのを伝えられるようなものですか、またその考え方とかを変えていく必要があるよということで、皆さんからいただいたことを提言の中に盛り込んでいくのに非常にいいご意見が出たと感じております。

(部会長) 事務局のほうでご説明したものに、なにか未来に繋がるというような言葉を入れてはどうでしょうか。

(地域整備課長) このテーマに未来とか将来とか文言を足したり変えたりしても、それで提言の中身まで変わるということは無いと思います。皆さんが話を進めていく上で、テーマがハッキリしないとなかなか前に進めないと思いますので、いま決めていただくわけですがけれども。このカッコ書きの中の言葉一字一句を気にする必要は無いと思います。実際の提言の中で盛り込んでいければいいと思います。

(委員2) 町民のより良い快適な生活～はどうですか。町民の生活というのが一番大事なのだから。

(複数委員) 未来という文言は特にいらんんじゃないか。目指して、というのがすでに未来に向う言葉だと思う。

(部会長) では、未来という言葉はなしでもいいですかね。『町民のより良い快適な生活環境を目指して』というテーマでよろしいでしょうか。

(一同、拍手で承認)

(部会長) はい、ありがとうございます。では、今後はこのテーマに沿って実際の中身について話を進めていくということでお願いします。

(地域整備課長) はい、それではテーマのほうは先ほど出されました『町民のより良い快適な生活環境を目指して』でよろしいですね。はい、これで本日の議題の大きな一つ目が終わりました。それでは、議題の2つ目のほう

を部会長さんお願いします。

(2) 第2回部会の進め方と開催日時について

(部会長) それでは議題の一つ目が終わりましたので続いて2つ目のほう、事務局説明をお願いします。

(地域整備課長) それでは(2)の第2回部会の進め方と開催日時についてということで進め方ですけど、全体でやっていく方法と資料1にもありました生活環境と衛生環境、そういったものから2つとか3つ小さいテーマを設定してグループごとに、例えばこちらのグループでは道路環境あちらのグループでは河川環境というようにグループで話し合いをするのと、どういった方法で進めていけばよいかご協議いただきたいと思います。

(部会長) 第2回部会は研修会をしてからというのではなかったか。

(総務課職員) 話が行ったり来たりですみません。資料の最後のページ、年間のスケジュールをご確認いただきたいと思います。こちらに8つ項目がありまして、そのうち6つが委員の皆さんにご出席いただく会議です。代表者会議と第1回部会が本日までの所になって、第2回部会と研修会が同じ期間、8月下旬から9月上旬のところで色づけされています。そのあと第3回部会と全体会ということで進めたいと考えております。研修会と第2回部会が同じ時期に色がついてますが、研修会はそれぞれの部会ごとではなく、百人委員会が5部会あるんですが、その全体に向けての講演会ということで考えています。百人委員会のあり方だったり進め方、全体に共通する話題で講演いただければなと思って、講師先生と今後調整に入るわけですけども、一人でも多くの方に参加いただければと思っておりますので、日にちはまだ確定していませんが、日曜日に開催、皆さんそれぞれお仕事やご都合あるかとは思いますが、一番集まれるのは日曜日かなと思っております。それで、部会が3回全体会が1回と会議だけでも4回になりますので、短い期間で何回もお集まりいただくのも大変だろうということで、どうせ日曜日に開催するのであれば同じ日に第2回の部会も行えば集まる回数は1回減るのかなというのがまず事務局の案として載せていました。ただ、講演会は講演会。部会は部会で集まりやすい時間等もあるかと思っておりますので、必ず日もその日にやりましょうということではないです。なので、同日開催にするのか、それとも部会はまた別の日にするのかなというところをご協議いただきたいというのが(2)でした。併せて、第2回部会では、いま大きいテーマを決めていただいたんですけども、それを詰めていくときに柱として資料1の所を一つ参考にしていただきながら、またそれ以外の部分につきましても柱ということでも全然構わないん

ですが、柱になる中テーマといいですか、そういったところをしばっていたいで、それを全体で協議するか先ほど話がありましたようにグループワークという形で少人数で進めるのか、その部会の進め方についてもいくつかやり方があるかと思うので、そういったところを今ご協議いただいて今後の進め方を決定していただければと思います。よろしくお願いします。

(部会長) はい、今事務局のほうでご説明しましたように、講演会と第2回部会の日が一緒でいいか、その是非を皆さんからご意見いただきたいなと思いますけどどうですか。まず講演会は日曜日にやるから部会のほうも併せてというのも一つの案だということです。そうでなければまた別の日を選んで部会を行う。

(委員7) 講演会というのは時間帯は日中なんですか。

(総務課職員) 8月の下旬のあたりがいいのかなというまだバフツとした案でございます。しかも、午前になるのか午後になるのかもまだ分からない状態ですので、実際には今日の時点で同日開催にするしないという決定ももしかしたら厳しいかもしれません。ただ、講演会自体は現時点では日曜日ということですので、講演会が午前中だと部会は午後、また講演会が午後1時からだと長くて2時間だと思いますので、その後すぐ夕方から部会とかそういうことになるかと思えます。いずれ日曜日の部会ということをお考えなのか、平日にまた改めて開催、まあ長時間拘束といえませんが、こちらに携わることになるのでまた日にちを改めようとか、その辺の方向性を決めておいていただければいいのかなと思います。

(部会長) だそうですねけれども皆さんどうしますか。講演会の日にするか、それともまた改めてやったほうがいいですか。日にちはまだ決められませんけれども。

(複数委員) いや、改めてやったほうがいい。

(部会長) では、改めて開催ということによろしいですか。

(地域整備課長) では別の日に開催ということで。そしてその部会なんですが、平日の日中がいいのかそれとも夜がいいのかというところはどうか。

(複数委員) これまでどおり平日の夜、時間も同じくらいがいい。日曜日の講演会は出席が難しいかもしれない。

(総務課職員) 決定事項ではないんですが、部会長さんからも話がありましたとおり出来るだけ多くの方に出席していただきたいということに変わりはありません。ただ、どうしても都合がつかない方というのもどうしてもいるわけです。それで、今後の講師との交渉次第なんですけれども講演のほうをビデオかなにかで録画をしまして、参加できなかったけれどもその映像

を見たいという方がいれば、そのビデオの貸し出しというのはできないかなと考えていました。平日の方が都合がいいという方も当然いらっしゃるかなとは思いますが、そういった対応も含めて、最終的な決定は事務局のほうでさせていただくわけなんです、よろしく願いいたします。

(委員4) ぜひビデオ等で貸し出してほしいです。そうしてもらえれば日曜日の開催でも全く構いません。

(総務課職員) はい、いずれ撮影となると肖像権というものが絡んできますので、講師なりの了解が必要になってきます。できるだけそういった協力をして貰えるように交渉してまいります。

(部会長) まず、今の事務局の説明のとおりです。それで、さきほど話がありましたけれども、小さなテーマを決めて今日のように全体で話し合うのかグループに分かれたほうがいいのか、その辺はどうでしょう。

(委員3) やっぱりグループに分かれてその中で意見を出し合っただとまとめたほうが時間も掛からなくていいと思いますよ。他の会議に私が出たときもそういう方法をとっている。5つぐらいのグループごとに紙を配ってその紙に意見をまとめていく。そうすると全体でも5つの意見にしぼられてくるのでまとめやすい。その方が能率的だと思いますよ。

(部会長) という意見が出ましたが、皆さんどうですか。グループに分けて意見を絞っていく。そのグループ編成については事務局に一任ということで。

(総務課職員) たびたびすみません。グループワークの考え方なんですけれども、いま皆さんがおっしゃっている通りだと思います。あまり1グループの人数が少なすぎてもかえって意見を出しづらくなるのかなと思います。まあ5～6人程度かなと思うんですけども、そのわけ方として資料の1ページをご覧ください。これは昨年度話し合われたものを分野別にまとめたものということで地域整備課長から話がありました。その中で大きな1に生活環境、2に衛生環境とあるわけなんですけれども、これを一つの中分類のテーマといいますか、分野という形で分けるという方法もあるかと思います。ただ、生活環境のほうは(1)～(5)まであるわけなんですけれども、これを半分なり似通った分野にさらに分けて、中分野といいますか中テーマといいますかそれを3つぐらいに分けてワークグループでやりましょうかということもあるかと思います。そしてこの部会の人数が15人ですので、3つに分けると5人。2つに分けると7ないし8人ということになるかと思います。ただ、3つに分けて5人といっても必ず5人集まるわけではないので、もしかしたら次は3～4人での話し合いになるかもしれないということも含めてご協議いただければと思います、よろしく願いします。

(部会長) 今事務局から説明があったように、グループ分けで話し合いを進めたいと思います。それを2つに分けるか3つに分けるかというのは事務局のほうにお任せしてもいいんじゃないかなと思うんですけども。もし、自分はこのグループに入りたいというのがあれば聞いてみるでもいいと思うんですが。

(委員6) テーマというか柱は生活環境のほうを半分にするなど3つに分けたりしてもいいと思うんですが、同じテーマを3つのグループで話し合ったほうがいいのかと思うんですが。半編成はするんだけど協議の内容はみんな同じものの方がいい。

(地域整備課長) 先ほど出されたのは3つにわけてそれぞれの分野で話し合っていくというもの、そしていまお話されたのは班を3つなら3つに分けて、でも話し合う中身はどれも同じということですよ。

(委員3) そうじゃないと意味がないと思いますよ。小さいグループに分かれて同じ議題で話し合わない、別々に別のことをやっているとならばそれこそまとめも何も無くなるのではないですか。

(委員8) あの、専門部会という考え方でいいと思うんですよ。同じことを協議するのではなくて、生活環境の中の(1)と(2)、(3)と(4)の部会、環境衛生の部会というふうに分けて考えたほうがいいのかと思うんですけども。次の8月末の部会のときに専門部会というような形でやって、最後の部会でまとめるということでもいいのかなと思います。

(地域整備課長) いま、グループを分けて同じ内容で協議したらいいんじゃないかという意見と、専門部会という形でやったらいいんじゃないかという意見と出ています。そして、2回目を専門部会でやって3回目を全体会として行うという3つの案が出ていますけれども、皆様のご意向はどのように。いずれ最終的にはみんなの前で発表というか報告をしてすり合わせて提言までもっていくということになります。

(委員4) 私はやはり3つに分けてそれぞれで議題を持ったほうがいいのかと思います。課題がたくさんあるわけですから。

(委員2) 2つの案が出ているのだから決を採ってほしい。

(部会長) それでは、専門部会のようにここの議題で協議を行うのか、それともグループは分けても同じ内容を協議するのか決を採ります。

(委員5) その専門部会という形にしたときは、第2回目の部会ではその議題だけを話すのですか？

(部会長) 専門部会だからそうだ。第2回的时候は個別にやって、第3回的时候に発表する。

(委員6) ただ、そうすると特定のものに対してしか意見を言えないのではな

いですか。

(委員5) 普段あまりやらないからあれだけども、一つのものに対してAグループではこう思う、Bグループではこういう意見が出たというのがあって、それを3回目で出し合う感じでもいいのかと思います。同じテーマでもグループによっていろんな考え方があっていいと思ったんですが。

(地域整備課長) いずれ最終的には、皆さんが思っていることを共有するわけですから、最終的には同じになると思うんです。

(部会長) じゃあもう無理に分けないでこのまま全体でやったほうがいいんじゃないか。

(総務課職員) すみません。同一のテーマで話をする、専門部会に分かれて協議を行う。どちらにもメリットとデメリットがあると思うんです。小さいグループに分かれて同じテーマで話し合う、これはグループの雰囲気というのは出てくると思うので、同じテーマでもグループごとの違う視点というのがあって、いろんなものを集めることができると思うんです。ただ、デメリットとしては、毎月何回とか定期的で開催するものであれば別なんですけど、今回は2回目にワークショップをしたときに3回目には皆さんで集まってお話をさせていただくということになると、次回だけがワークショップの機会になるわけです。その中で資料にあるだけでも7分野、短い時間の中で全てに意見を出しきれるかというとなかなか難しいところがある。同じテーマを話し合ったはずなんだけれど、話し合った中身については最終的には分野が分かれる可能性があるというのが一つデメリットになるかと思われま。そして、専門部会のほうなんですけれども、メリットとしては、ある程度分野がしぼられてきますので、深さを求めることができる。その分野に関しては多くの意見を集めることができる。デメリットとしては当然グループ内だけの意見ですので、どうしても視点という意味では狭められてしまう可能性があります。そこを3回目の会議のときにどう補おうかということにも視点を置いていただいでですね、ご検討いただければいいのかなと思うんですけれども。今年やってみてやっぱりこうしたほうが良かったなというのが出てきてもですね、来年仮に委員さんのメンバーが代わったとしてもそういうふうに変えてやってみればいいことであって、年を重ねるごとにこの百人委員会のやり方というのは成長していけばいいのかなという考え方で、「とりあえずこうやってみんびやあ」というやり方でいいのかなと思います。

(部会長) いま総務課から説明がありましたので、ここら辺でどちらがいいか決を採ります。それではグループに分かれて同じテーマで話し合うのがいいと思う人は挙手をお願いします。→5人

それでは、専門部会の方がいい人は。→5人

同点か。同点ですけれども、部会長の私としては、専門部会のほうで進めたいと思いますので、お願いします。

(地域整備課長) はい、ありがとうございます。それでは確認しますけれども、第2回の部会は専門部会でもってわかれてやると。それで3回目のほうはまた全体でという形でよろしいですね。

(部会長) それで、分け方については事務局のほうにお任せします。

(地域整備課長) はい。それで、資料1に示したものをやらなければならないというわけでもありませんから、そこはお任せいただければと思います。

(委員5) あのすみません。次回までにまた今日のものをまとめたものを準備していただければ助かるんですが。

(総務課職員) はい。今回の議事録等は次回までに作成しお配りします。

(総務課職員) それで、別々の議題でグループワークを行うということですが、委員さんたちの中で自分はこの分野、例えばどうしても道路をやりたいとか、私は河川についてとか、ごみだけは譲れないとかあると思うので、事務局のほうでテーマを設定したら、それを事前に皆さんにお知らせをして、どのグループがいいか一旦希望を取らせていただきます。そうすると分野的に固まる可能性がありますので、そこはまた事務局のほうで調整させていただきますので、いずれそういった形で進めさせていただきたいと思いますのでご了解いただきたいと思います。

(部会長) そこは事務局のほうにお任せいたしますのでよろしくをお願いします。

(地域整備課長) はい。それでは議事のほうはおかげさまで全て決定していただきました。ありがとうございます。

(委員3) すいませんあの、資料の中に河川管理者に伝えるとあるんですが、いつ伝えるんですか。回答の中にあるけれども、これはいつ掛け合ってくるんですかね。

(地域整備課) そうですね、これは地域整備課で担当する部分ですが、先日行われた川を守る会の中でも枝などの環境が悪いということは話しが出ました。県の課長さんもお見えになって、充分分かりましたよというか理解しましたよということで回答いただいておりますが、小軽米の部分ですとかいろんなどころがあるんで前向きにやりますよという返事をいただきました。課長さんもお見えになって前向きに対応しますよと、中州の枝の伐採もやりますよと。それともう一つあの泥で水がよどんでいるということで県のほうに話も通っているし、お返事もいただいているところでございます。